

「感染の再拡大防止に向けて（道案）」等に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

- ・特に意見なし。
- ・宮城県の独自の緊急事態宣言など道民は知っているか。現在どの都府県で行動制限が要請されているのかを毎日周知する必要がある。
- ・要綱改正については問題ないと思う。総評で「新規感染者数は先週から微減」と書かれているが、ここ数日の状況を見ると増加に転じているように思われる。
- ・異論はない。クラスターの発生が収まらないことを考えると、多くの人が集まる場面における「北海道スタイル」が守られていないのではないかと感じる。
- ・3月、4月の人が集まる場面が多くなる学校・職場に対する個別要請を強化してほしい。
- ・保健所や病院機能が逼迫するとワクチン接種の円滑化を阻害する大きな要因となるので、道民のさらなる協力を要請してほしい。
- ・速やかなワクチン接種を期待したい。
- ・要綱改正については、関係法令の改正を踏まえてのものなので、異論はない。
- ・東京都などの緊急事態宣言が段階的とはいえ解かれたことにより、日本全体の雰囲気は緩んできている気がする。北海道も感染者が増えているのが気になる。異動の時期を迎え、北海道民の心に響く感染防止対策の啓発をお願いしたい。
- ・要綱の改正は必要なことなので、これで良いと思う。
- ・いよいよ異動期を迎えるので、念押しの意味を込めて、もう一度、呼びかけてはどうか。
- ・異論はない。引き続き、しっかりと進めてほしい。
- ・北海道新型コロナウイルス感染症対策要綱の見直しについて異存はない。なお、対策に大きな変動がないこの時期に、要綱第4の2項の(1)に規定する警戒ステージについて、国との整合性を図る見直しを検討すべきと考える。
- ・新規患者数が下げ止まりにある中、感染経路不明が上昇しており、水面下での感染拡大が懸念される。現時点では、道民の感染防止行動の徹底が対策の基本となることから、食品販売会に参加した高齢者や大学の部活動など具体的な感染事例に基づき、行動の注意ポイントなどを分かり易く周知すべきと考える。

2 関係団体の意見

- ・現状は「警戒ステージ2以下を目指す」という目標とは依然として大きな乖離があることから、1都3県の緊急事態宣言の解除が道民の感染防止に対する意識の低下につながるよう、知事においては、道民や事業者に感染リスクを極力低減する行動を徹底するようメッセージの発信をお願いしたい。
- ・「変異株」について、従来の新型コロナウイルスとの違いや、感染防止に向けて特に留意する点、感染後の対応などについて、専門家の知見も踏まえつつ、詳らかにしていただき、道民や事業者の不安を軽減するような取り組みをお願いしたい。
- ・今回の措置に組み込まれる「外出自粛など都府県において行動制限が要請されている地域との不要不急の往来を避ける」については、道民や事業者に具体的な都府県名を別途ホームページなどでわかりやすく明示することが必要と考える。
- ・医療・福祉施設でのクラスターが依然として生じている。例えば、ワクチン接種について医療・福祉施設に入院・居住する高齢者を優先するなど、専門家の知見も踏まえて、対策を検討していただきたい。
- ・これから3月・4月、就職・進学や人事異動等で人が移動する時期を迎える。「年度末・年度始めにあたっての感染防止行動」の徹底について、道民や事業者に改めてメッセージを発信いただきたい。また、道・国・市町村の職員の移動に関しても、改めて周知に万全を期していただきたい。当会でも人の移動に伴う感染拡大を抑えるよう、道や関係団体と作成した事例集について会員への周知を実施しており、今後とも道と協力しながら取り組んでいく。
- ・現在、北海道においては、「全道」の警戒ステージの指標が公表されているが、振興局別の新規感染者数（1週間単位）を公表しているものの、地域がどのステージに該当しているかは分からない。他県では、自治体別に「見える化」され、情報公開されているところもあり、きめ細かな情報公開が道民の主体的な行動につながり、感染拡大を抑制する上でも不可欠と考えるので、道においても、振興局別、あるいは主要都市や観光地別で、ぜひ情報の見える化に取り組み、地域毎のきめ細やかな対応をお願いしたい。
- ・道の警戒ステージに合わせて、需要喚起策を地域毎に再開してほしい。各地からも望む声が強くと寄せられている。きめ細かな警戒ステージの運用と合わせて、小康状態の地域から経済を動かすよう市町村を巻き込み、道として取り組んでほしい。
- ・今後の対策として、変異株への対応、特にPCR検査体制の拡充等が急務。加えて、観光が再開した際に、旅行者等に対しても安心感を与える医療体制・検査体制の拡充・強化が、観光の受入強化にもつながるため、引き続き、他の都府県の見本となる医療体制・検査体制の強化をお願いしたい。
- ・内容に関しては意見等なし。検査陽性率や感染経路不明割合などが増加していることを懸念。
- ・経営状況のひっ迫している事業者のことを考えると、どうみん割の早期再開を希望。平日の割引率を高めたり、宿泊施設では、曜日による1日キャパの何割宿泊の制限を新設したり、週末集中を避けるなど、少しずつ緩めながらもどうみん割を再開しないと本当にもたない。

